

[ディプロマ・ポリシー] 学位授与の方針

知的財産戦略(MIP)専攻においては、経営、技術、法律等にまたがる「理論」と「実践」の融合をはかった教育を通じて、次のような資質を持った高度専門職業人を社会に送り出すことを目的としている。

(課題発見)「理論」と「実践」の両面から、知的財産に係る課題を自ら発見し、その背景にある諸要素の関係を経営、技術、法律等の多面的な知見から把握することができる。

(仮説設定)知的財産マネジメントに係るイノベーションを自ら実現するために、個別事案に応じた最適なマネジメントについて仮説を設定することができる。

(論証能力)経営、技術、法律等にわたる多様な情報を、国際的視野で複合的に分析し、戦略的な知的財産マネジメントを論理的に提案することができる。

(解決能力)知的財産の創造、保護及び活用の各局面における問題を解決するために、最適なマネジメントの実践を担うことができる。

[カリキュラム・ポリシー] 教育課程編成・実施の方針

1. 知的財産戦略(MIP)専攻では、知財に関する視点を持ってビジネスをアクティベートできる人材、すなわち、知財の創造、保護、活用ができ、さらに経営・技術・法律等、各領域にまたがる幅広い教養を国際的視野で身に付け、理論と実践の両面から課題を把握し、その解決策を戦略的に提案できる能力を持つ、高度な知的財産専門職人材を養成することを目的としたカリキュラムを編成している。

2. また、学生の多様性を包含し、吸収できるよう、知的財産法制度に関する基本的知識を確実に身に付けると同時に、知財に関する政策展開や企業における戦略展開の生きた姿など、理論と実践の両面をバランスよく修得できるように体系的にカリキュラムを編成している。

3. さらに、知的財産戦略(MIP)専攻の専門性を発揮しつつ、他専攻の履修を可能とすることによって、専門性と幅広い視野・知識を効率的・効果的に修得できるよう、基盤系及び法律系の各科目からなる「基礎科目」、戦略系、知財実務系及び法律系の各科目からなる「発展科目」並びに「演習科目」によりカリキュラムを編成している。

4. 特に、理論と実践の融合を図るための「演習科目」においては、学生一人ひとりの研究課題に対して、複数の教員がコーチングし、その問題意識に基づいて研究を深め、研究課題に対して具体的なソリューションを得るように個別指導を行うカリキュラムを編成している。

